

# 平成25年度当初予算主要・新規事業概要書

会計名 後期高齢者医療特別会計

◆現状・課題

後期高齢者医療制度は、千葉県後期高齢者医療広域連合が保険者として、後期高齢者医療被保険者の入院、外来等の医療費の給付並びに補装具及び高額医療費等の支給などの後期高齢者医療制度の運営にあっている。

流山市は、市町村事務とされている保険料の徴収や被保険者証の引渡し、医療給付に係る申請受付などの窓口事務を担当し、それらに係る経費を後期高齢者医療特別会計予算として計上している。

後期高齢者医療被保険者の数は、増加の一途をたどっており、特別会計では、保険基盤安定拠出金の伸びが大きく(対前年度13,258千円増)、また、一般会計においても、医療費負担金の伸び(対前年度29,758千円増)が顕著である。

◎被保険者(平均被保険者)の推移

H22年度 13,445人 H23年度 14,293人 H24年度 15,223人 H25年度 16,167人(見込み)  
 H22→H23 6.3%増(848人増) H23→H24 6.5%増(930人増) H24→H25 6.2%増(944人増)

◆予算要求の概要

NO.21

平成25年度予算は、保険料や保険基盤安定拠出金など広域連合の指示額により編成するほか、後期高齢者医療事務、被保険者管理事務及び保険料徴収事務などの執行に必要な臨時職員賃金や郵送料、電算業務委託料などを計上した。

一般管理費の電算システムの委託料や手数料等については、平成25年6月末に5年間の契約が満了となるため、再リース対応とすることで、平成25年度大幅に電算システム経費が減った。また、消耗品費については、可能な限り削減した。

一般会計繰入金に該当する、本特別会計の繰入金については、ルール分の保険基盤安定分は、広域連合の指示額を計上した。また、職員給与費分については、人材育成課から提示された額を計上、さらに、事務費分については、電算システム経費の減をはじめ、可能な限り削減(対前年度△4,595千円)して予算計上した。

(単位:円)

科 目	歳 入		増 減 額 (B) - (A)	概 要・増減理由等
	H24年度 予算額 (A)	H25年度 予算要求額 (B)		
保 険 料 1. 1. 1 1. 1. 2	1,264,343,000	1,303,430,000	+39,087,000	・特別徴収保険料(年金から) 785,129千円 ・普通徴収保険料(納付書、口座) 518,301千円 H24 1,264,343千円→H25 1,303,430千円(39,087千円増) ※徴収した保険料はすべて広域連合へ納付 ○収納率実績(現年度) H21 98.65%、H22 99.38%、H23 99.30%
一般会計繰入金 2. 1. 1 2. 1. 2 2. 1. 3 ①事務費繰入金 ②保険基盤安定繰入金 ③職員給与繰入金	228,848,000	239,275,000	+10,427,000	①事務費繰入金計 27,484,000円 H24 32,079千円→H25 27,484千円(△4,595千円) ②保険基盤安定拠出金 161,187,000円 H24 147,929千円→H25 161,187(13,258千円増) ③職員給与費 50,604,000円 H24 48,840千円→H25 50,604千円(1,764千円増) ①+②+③=239,275千円 ◎H24 228,848千円→H25 239,275千円(10,427千円増)
繰越金 3. 1. 1. 1	5,000,000	4,000,000	△ 1,000,000	前年度保険料 H24 決算見込額 3,901,000円 H24 5,000千円→H25 4,000千円(△1,000千円)
諸収入 (延滞金) 4. 1. 1. 1	1,000	1,000	0	保険料延滞金
諸収入 (保険料還付金) 4. 2. 1. 1	4,400,000	4,400,000	0	歳出還付の実績に応じて、広域連合から歳入される
諸収入 (雑入) 4. 3. 1. 1	3,289,000	3,177,000	△ 112,000	広域連合交付金 徴収票作成等業務委託分 3,177,000円 本算定に係る保険料額決定通知書の作成委託費、郵送料 等の事務経費が広域連合から歳入される
合 計	1,505,881,000	1,554,283,000	+48,402,000	

科 目	歳 出		増 減 額 D - C	概 要・増減理由等
	H24年度 予算額 (C)	H25年度 予算要求額 (D)		
職員給与費 1. 1. 1. 01. 01	48,840,000	50,604,000	+1,764,000	職員6人分 人数に変更なし。 前年度に比べ、給与単価の高い職員が配置となっているため (1,764千円増)
後期高齢者医療 事務管理事業 1. 1. 1. 02. 01	5,398,000	5,363,000	△ 35,000	主な内容は、臨時職員賃金4名分 旅費、消耗品費を実績に基づき削減(△35千円)
被保険者管理 事業 1. 1. 1. 03. 01	11,169,000	6,396,000	△ 4,773,000	主な内容は、被保険者の管理に係る電算委託料 H20年度に導入したダウンサイジングによるシステム機器 等がH25年6月に満了となり、そのシステム機器等を再 リースすることにより委託料、手数料、使用料等の減額に 繋がった。(△4,773千円)
給付事務事業 1. 1. 1. 04. 01	923,000	1,084,000	+161,000	主な内容は、給付通知の郵送料 高額療養費の決定通知書の郵便件数の増による。 (161千円増) (被保険者数の増加による)
徴収費 1. 2. 1. 01. 02	6,022,000	5,969,000	△ 53,000	主な内容は、納付書作成に要する電算委託料 昨年度実績に基づき積算した結果、減額(見積書) (△53千円)
1. 2. 1. 01. 03	1,796,000	1,789,000	△ 7,000	主な内容は、収納指導員賃金、通信運搬費 (△7千円)
後期高齢者医療 広域連合納付金 2. 1. 1. 01. 01	1,417,273,000	1,468,618,000	+51,345,000	○保険料納付金(徴収した保険料を広域へ納付) H24 1,264,343千円→H25 1,303,430千円 (39,087千円増) ○保険基盤安定拠出金(低所得者の保険料の軽減分を 広域へ納付) H24 147,929千円→H25 161,187千円 (13,258千円増)
諸支出金 後期高齢者医療 保険料還付金 3. 1. 1. 01. 01	4,460,000	4,460,000	0	歳出還付分(過年度分)
予 備 費 4. 1. 1. 01. 01	10,000,000	10,000,000	0	
合 計	1,505,881,000	1,554,283,000	+48,402,000	